

令和4年度<事業所職員向け>児童発達支援・放課後等デイサービス 自己評価表

※コロナ禍で非該当となった項目は／をしています。

児童デイサービスあおねっと青森南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善点など
環境・体制整備	①	利用定員について指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・年代ごと・作業ごとにエリア分けもしてあり適切かと思われる。 ・ワンルームなので、人数が多いと手狭に感じることも。 ・車いすの方が多い時でも、十分なスペースを確保するよう工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・10:6 加配を考慮した職員配置。 ・ワークフローにて人員配置についても判りやすく提示。 ・送迎が重複した際に、人員が少ない場面も。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のご利用者には問題ないが、新規のご利用者があった場合はその方に合った配慮が必要。 ・現状でも、エリア分けや視覚支援、バリアフリー対応。手すりもあり。 ・改善すべき点が多い様に感じる。
	④	建物や生活スペースは清潔で整理された空間になっていると思いますか（各ルーム・食事場所・トイレ等）	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の努力により、1回/1hの消毒、換気作業を行っているが、ご利用者の成長と共にスペースが手狭と感じる事もある。 ・毎日の衛生管理、床拭きも次亜塩素酸水で実施。 ・オムツ交換の際に、ベッドが低く腰を痛めそうに思う事がある。 ・整理に努めているが、十分でない時もある。
	⑤	事業所内の安全、感染症対策が十分に取られているか	62%	38%	<ul style="list-style-type: none"> ・換気扇は24時間フルタイムで動作。 ・消毒は行き届かない事がある。 ・使用した用具の消毒・使用後元に戻すことの徹底を心掛け、次の支援をスムーズに。 ・施錠されていない事もあり、注意が必要。
業務改善	⑥	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕会や会議で話し合う機会もあり。サイボウズでの共有も。 ・もっと積極的・具体的・実現可能な意見を求む。 ・広く参画していると言えないかも知れない。
	⑦	保護者向け評価表により保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の事業所アンケートの実施。 ・その他、電話や連絡帳での意見もある。 ・業務改善に繋げようと努めている。
	⑧	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の広報誌やホームページ等で公開しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年行っている。 ・保護者の希望を受け、送迎職員の人数や、対応する車両を変更する等の改善に努めた。 ・前年度の「わからない」評価について、「知ってもらう取り組み」に努めた。
	⑨	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年→令和2年で実施。 ・5か年計画として新たな選定機関としているので今年度は行っていない。
	⑩	職員の資質向上を行うため、研修の機会を確保しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画に沿って実施。 ・自発的に情報収集し、受講希望する職員もあり、実施に結び付けた。

適切な支援の提供	⑪	アセスメントを適切に行い、児童と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援・放課後等デイサービス計画（個別支援計画書）を作成しているか	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・例え、日常生活の他愛もない歓談からの話だとしても、情報は「宝」として皆で共有できる姿勢でいてほしい。 ・太田ステージや日々のアセスメントで課題を抽出し、連絡帳やモニタリングにて共有、個別支援計画にも反映。本人に意見もうかがっている。 ・一人ひとりのアセスメントをもっと行うべきでは。 ・連絡帳の用紙に記載された支援目標も忘れずに更新する。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援および移行支援）」・「家族支援」・「地域支援」で示す支援内容から児童の支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な支援について、もっと細かく設定が必要かも。

適切な支援の提供	⑬	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの総則の基本活動（自立支援・創作活動・地域交流の機会・余暇）を複数組み合わせる支援を行っているか	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事計画、自立支援計画を定め実施。状況により代替活動も。
	⑭	児童発達支援・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・支援カレンダーを作成し、支援の可視化に努める。
	⑮	児童の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・太田ステージ、PECS等
	⑯	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・各会議にて、行事計画の内容も詰めたりする事もあり。
	⑰	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・変化を付けながら実施に努める。 ・表を作成し、活動がかぶらないよう努める。
	⑱	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	88%	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合った行事や、外出計画。 ・細かくスケジュールを組み立て、それに沿って活動している。 ・きめ細やかと自信を持って言えるか懐疑的。
	⑲	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画書を作成しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・各個別支援計画書、企画書、行事計画・報告 等
	⑳	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせ（朝会）をし、その日行なわれる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・フロー、日誌、各種会議等。毎日行い、確認できている。 ・参加できなかった職員への伝達が十分でない事も。
	㉑	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせ（夕会）をし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点など共有しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎職員にも戻ってきた際に共有、ケース記録も確認。 ・会議中でもいいのでニコリホットを取り上げてみてはどうか。 ・参加できなかった職員への伝達が十分でない事も。
	㉒	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の福祉の森での業務日誌記録。

	②③	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しているか	100%		・モニタリングは年2回、または随時。それに伴う個別支援計画の目標設定
関係機関や保護者との連携	②④	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	100%		・児発管のほか、担当する職員が計画・報告等に参画。
	②⑤	母子保健や児童・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	100%		・3歳児健診などの担当外となり、参加できず。
	②⑥	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	88%	12%	・中央短期大学付属第一幼稚園とのカンファレンス。 ・もっと情報共有しても良いかと思う。 ・希望があればいつでも。
	②⑦	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	88%	12%	・小学校、高校などとのカンファレンス。 ・やりとりが少ないと感じる。 ・希望があればいつでも。
	②⑧	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	88%	12%	・送迎時などに必要に応じて引き継ぎあり。学校だより受け取り。電話連絡での確認。 ・ほぼ適切である。 ・少ない様に感じる。
関係機関や保護者との連携	②⑨	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	88%	12%	・少ない様に感じる。 ・希望があればいつでも。
	③⑩	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%		
	③⑪	医療的ケアが必要な児童や重症心身障害のある児童等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援をおこなっているか			・用意はあるが、新型コロナの影響で実施できていない。 ・研修へは積極的に参加。
	③⑫	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか			・用意はあるが、新型コロナの影響で実施できていない。
	③⑬	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない児童と活動する機会があるか			・用意はあるが、新型コロナの影響で実施できていない。
	③⑭	（自立支援）協議会、障害者部会等へ積極的に参加しているか（リモート参加等の参加型を含む）	100%		
	③⑮	日ごろから児童の状況を保護者と伝えあい、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		・連絡帳や、玄関先にて申し送り事項など伝える。電話連絡でも。
	③⑯	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%		・連絡帳や、玄関先にて申し送り事項など伝える。電話連絡でも。
	③⑰	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画書」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		・新型コロナの流行で意向確認書のやりとり。電話での面談の希望も確認している。

38	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「放課後等デイサービス支援計画書」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	100%		・新型コロナの流行で意向確認書のやりとり。電話での面談の希望も確認している。
39	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		・相談シートに受付、サービス点検調整委員会、運営会議等資料へも共有。
40	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%		・計画、予定していたが新型コロナの流行により保護者会を中止した。

保護者への説明責任等	41	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		・行っているが、チェックリストを整備した方がいいと思う。 ・契約時、また、変更となった際にも説明。
	42	子供や保護者から苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		・苦情受付者、解決者設置。苦情でなく、相談の問い合わせは多い。 ・子どもや保護者以外の苦情などについても迅速に対応している。
	43	定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	100%		・広報誌に記載している。 ・質問の文言の中の「会報」から「広報（あおねっときっず）」に変更し、わかりやすくする。
	44	個人情報に十分注意しているか	100%		・個人情報の取り扱いについて説明している。
	45	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		・視覚支援を用いている。
	46	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っているか（紹介・行事等告知を含む）	75%	25%	・計画、予定していたが新型コロナの流行により保護者会を中止した。 ・幸畑まちづくり協議会、青森大学と関わりあり
非常時の対応	47	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか	100%		・マニュアルは作成しているが、保護者への周知は十分ではないかも。 ・緊急連絡網の見直しを含めた整備、もっと大々的に家族へ配布すればいい。
	48	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		・定期的に様々な想定で実施。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		・朝会後に虐待防止の手引き読み合せ。虐待防止チェックリストを毎月の職員会議で実施。 ・法人では5・11月に虐待防止月間を設ける。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%		・同意書を依頼すると共に、解除検討会議を実施し、業務日誌に記録もしている。
	51	食物アレルギーのある子供について医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	25%	・契約時のアセスメントで確認。 ・重篤となる心配のある方は現在いないが、医師の指示書はいただく事にしたい。食事形態の指示書も。
	52	ヒヤリハット、インシデント事例を作成して、事業所内で共有しているか	100%		・検証・報告書での共有。

・この放課後等デイサービス評価表は、児童発達支援事業所の職員が、事業所の自己評価をするものです。
・「はい」、「いいえ」、のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点・課題や改善点」についても記入してください。